

障害児通所支援の在り方に関する意見等

全国医療的ケア児者支援協議会

代表 前田 浩利

団体の概要

1. 設立年月日

2015年7月11日

2. 活動目的及び主な活動内容

医療的ケアを必要とする人と家族が笑って暮らせる日本社会の実現目的とする。

【主な活動内容】

医療的ケアに関する政策提言事業

医療的ケアの当事者とその家族、支援者のコミュニティづくり事業

医療的ケアの当事者とその家族に対する相談及び支援事業

医療的ケアに関する正しい知識の普及啓発及び広報事業

医療的ケアに関する調査研究及び調査研究の成果を発表する事業

医療的ケアに関する団体及び医療的ケア以外の関連団体との連携事業

3. 会員数等

1145名（2021年6月現在）

障害児とその親が置かれる厳しい状況

■ 障害児の介助者の就業率は、女性一般に比べて低い

-女性の実業率は、1986年に57.1%、2016年に72.7%と15.6%ポイント上昇(P5参考資料:①)

-一方で、障害児(5歳以下)の主な介助者(主に母親)の実業率は47.8% *1

■ 障害児の保護者の介護負担によるストレス

-働けないことによるストレス(経済的理由、社会とのつながりの欠如、育児からの解放等)増加。*1

-障害理解の不足による介護ストレスも

■ 保育園では医療ケア児の預かりがほとんどない

-19歳以下の医療的ケア児は国内に2万人程おり、現在も上昇傾向(P5参考資料:②)

-2021年自治体ヒアリングで都内保育所で呼吸器児の預かりが確認できたのは港区の1園のみ(P5参考資料:③)

■ 保育所機能を有した施設が求められる状況

-保育所では、医療依存度の高い児の入園は進んでいない。

-児発で長時間・児単独での預かりを実施することが喫緊の課題。

今後の児童発達支援事業の提案

■ 長時間保護者不在の状況下で預かるために必要な人員

-人員体制について

- ✓ 保育所同等に児を単独で預かるために、指定申請上必要な人員配置を大きく上回る職員(施設長1名、児発管1名、看護師5名、保育士6名、パート看護師3名、パート保育士3名、その他送迎スタッフ)の雇用が必要。[*2](#)
- ✓ 開所時間も10時間以上となり、職員シフトを組む必要があるため(朝番、夕番等)、多くの職員の雇用が必要。(P5参考資料:④)

-報酬単価不足による財務状況の悪化(赤字運営)

- ✓ 児発の枠組み(重心児5名、重心以外7名の預かりを実施)で、保育所と同等の運営を行った場合、**年間で5,400万円ほどの赤字**となる。[*2](#)

■ 報酬体系について

-児発で保育所同等の機能を有する事業者を運営するために、児単独通園(母子分離、保護者分離)かつ長時間開所する事業所の正当な評価を実施してください。

■ 2つの新たな児童発達支援事業について

-児発のモデルを細分化していく流れが必要。最初に大きく2つに分けて議論をスタートしていくことを提案します。

保育所型＝保護者分離型

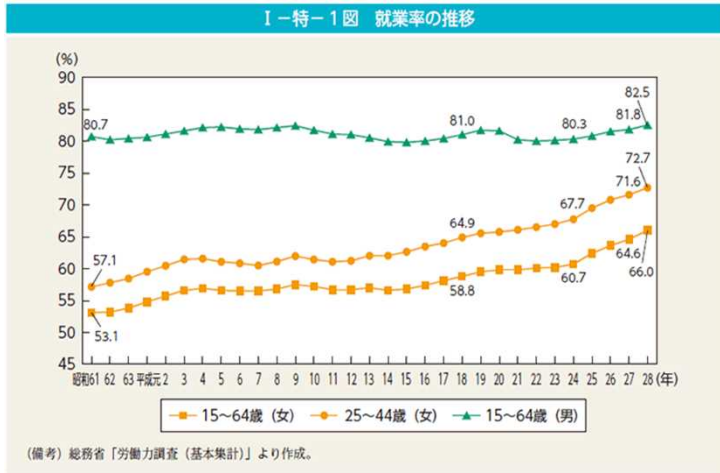
- ・ 中重度以上の障害児を保育所と同様(児単独で長時間利用且つ週5日登園)に預かる。
- ・ 成長発達に寄与する療育を実施する。

療育プログラム提供型＝保護者同伴型

- ・ 保護者も子と活動することにより、障害理解を深め、障害特性への対応や療育について学ぶ機会を得る。

参考資料

①



②



③ 23区 医療的ケア実施状況

	渋谷	世田谷	練馬	杉並	板橋	品川	文京	中野	江戸川	足立	合計
喀痰吸引	○	○	○		○	○	○	○		○	9
経管栄養・管理	○	○	○		○	○	○	○		○	9
酸素管理		○			○		○				3
薬液吸入		○			○		○				3
気管切開部の管理		○			○		○			○	5
人工呼吸器					○						1
中心静脈栄養											0
導尿	○	○	○		○		○	○	○		8
人工肛門							○				1
血糖値測定		○								○	2

(備考) 2021年5月NPO法人フローレンス調査。各自治体へのヒアリングを実施。

④



<引用>

- *1 美浦 幸子(2020)「世田谷区における障害児の母親の就労状況と支援策の検討(昭和女子大学現代ビジネス研究所)」
- *2 NPO法人フローレンスにて算出。児童発達支援事業において、重心児5名、重心以外7名が保育所同様に平日通園することを想定。